

「春よ来い早く来い」「春が来た春が来た」「春を愛する人は心清き人」「春のうららの隅田川」いよいよ春ですね。「春」私の名をつけてくれたイギリス人ジョセフ エドワーズ。大叔母と結婚してハワイにいたと聞いていますが、晩年は横浜に住んでいたらしく我が家の過去帳に名が残っているのです。

それに先がけて演じた者、観た者、自他ともに感動の境地にいざなった「近代水道創設130年記念公演・横浜市民ミュージカル「アクアの肖像」」はいつまでも人の心を離すことはないでしょう。黒岩知事も見えて賛辞を延べ、こどもミュージカルのコンペ最優秀を褒め、水道局長も素晴らしいと称えていました。いつも寒さで大変な思いをするので今回は練習会場には気を遣ってきました。

おかげで一人の欠員もなく皆元気で4回の公演を乗り切りました。お疲れ様でした。先生方はもとより、スタッフ、ボランティアの皆様にも心から感謝いたします。実は水道局員となった方々(一部本物)の制服の背中にYWW(Yokohama Water Works)の文字がありました。これこそ私の生き様の「キーワード」なのです。と申すのは太平洋戦争が終わり、操縦士候補として航空隊にいた私は今の韓国にまで乗る飛行機を追い求めていたのですが、練習機も特別攻撃隊に駆り出す戦争末期のため乗ることができませんでした。14歳で入ったので16歳の時でした。すべての軍人は武装解除させられて日本に帰ってきたのです。家は空襲で焼かれ、途方に暮れた私は親類の家に居候していましたが、これからの人生の歩みを考えようと子供の頃からよく通っていた山下公園に足が向かいました。公園は米軍のMPがいて入園禁止なので水上警察の横に向かいました。プーンと潮の香りが鼻を衝いて久々の感触を味わいました。ふと見ると背の高い水兵が「ハイ・ボーイ」と私に声をかけました。私は彼を見てニコツと笑ったのです。正に「昨日の敵は今日の友」の心境です。彼は手招きしてこちらへ来いと言っているようです。

私が行くマンホールを指さして「これ何」という発言。マンホールにはYWと浮彫になっているのです。私は「ヨコハマ・ウオーター・ワークス」と間髪を入れず答えたのですが、あとで考えると「ワークス」は過去に聞いたこともなく言葉にしたこともなかったと思います。もしかしたら一回位使ったのかもしれませんが。水兵は「なんだ英語できるじゃないか」みたいなことを言っていました。私は「NO, NO」と言ったら、それも英語だと言われました。彼に招かれて隣のオフィスに入るとすぐに郵便局と分かりました。彼は手紙を2・3通手に取って船の名を読めというのです。USS KING. USS HIOと、この辺は中学英語で習った知識でこと足りたのです。

横須賀へ着いた手紙を横浜に停泊している船の分を持ってきて、それぞれの棚に入れ、午後1時から3時まで各船のメールマンに渡すという仕事とジェスチャーたっぷり説明してくれました。10時から3時。お昼はK11レーション



写真 「アクアの肖像」  
←黒岩知事の賛辞  
カーテンコール→



今後のスケジュール

3/6 (火) ロイヤルホール 13:30 中区自治会連合町内会長感謝会 横浜市歌斉唱 横浜ローゼス
3/31(土)クイーンズサークル おぎゃー献金愛のコンサート 2時~5時 4時 赤い靴ジュニアコーラス あかいくつテンダーフト
4/15(日)~17(火) 国際シニア合唱祭 ゴールデンウェーブ in 横浜 横浜みなとみらい大ホール 出演 ザ・シワクチャーズ 17日(火) Gブロック4番 11時~
5/5(土・祝)「こどもの日コンサート」 横浜みなとみらい大ホール 第1回 13:00~14:00 指定席 小学生~高校生 1000円 大学生以上 2500円 第2回 25:30~16:20 指定席 0歳~高校生 1000円 大学生以上 2500円

(野戦の弁当) 日給は5円。高いか安いかわかりませんが、当時は食糧難。昼ご飯がでるだけでOKをしました。私は鍵をいただき、30分前に出勤して内外を掃除し皆を待ちます。そして午後来るメールマンの名を覚え、「ハローバブ」とか言って喜ばせます。彼らも「ハル」「ハル」と言ってかわいがってくれました。横須賀の司令官が噂を聞いて会いに来てくれました。一年ぐらい居ましたか、彼らは退役になってアメリカに帰ることになったのです。きっかけを作った水兵は「オースチン・ソングステッド」サンフランシスコ郊外のサニーベールの出身だそうで帰り際「アメリカの大学に必ず来いよ、僕がアレンジするから」と固い握手で分られました。2か月ほどして大きな荷物から送られました。アメリカンテストのジャケット、ズボン、セーターなどが入っており、手紙には「サクラメント州立大学」はいつでもOKです。パスポートに必要な身元引き受け保証書はすぐ送る。大学は自分の家から通えばいい。彼は地元の大きなフォードのディーラーの息子で、近く社長になるといいます。さて、万端整ったのですがJALへ行く航空運賃288,000円というのです。一日5円で働いていた身では無理なので、今働いてお金を貯めているというのと、来る日が決まればホルルのJALに送金しておく。羽田でいざわかるようにしておくから。かくして私は海外渡航が自由化になる前、新鋭のジャンボ「DO8」の乗客になったのです。

さて、ロスアンゼルス空港に降りた途端、私は当時神様のような「力道山」と偶然出会ったのです。まだ日本から来た日本人が少なかった頃であったので、彼はよく来たな！留学だってもったいないな、アメリカを少し見たらにしたらと言って旅行社に連絡し、私に全米を網羅している「グレイハウンドバス」の一年間無料券をくれたのです。オースチンに連絡すると「それはラッキーだ。学校には連絡しておくから楽しんで来い」と言われ、45日間、アメリカンを体感し、研修し、私は出会った多くの方々に感謝しながら「ヨコハマ・ウオーター・ワークス」にミュージカルでかわり合ったご縁をいま噛みしめているのです。

2018・2・29 団長 松永 春